

外 国 語

- 1年 英語コミュニケーションⅠ
- 1年 論理・表現Ⅰ
- 1年 higashino special(HEIM&HEOM)
- 2年 英語コミュニケーションⅡ
- 2年 英語演習
- 2年 論理・表現Ⅱ
- 2年 higashino special(HEIM&HEOM)
- 2年 多文化理解
- 2年 英検Interview Test Practice
- 2年 英文読解入門
- 3年 英語コミュニケーションⅢ
- 3年 論理・表現Ⅲ
- 3年 英語演習
- 3年 higashino special(HEIM&HEOM)
- 3年 時事英語
- 3年 受験英語
- 3年 学び直しの英語
- 3年 英文読解
- 3年 英語入試対策
- 3年 文法・語彙講座

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		外国語	英語コミュニケーション I	必修	4単位	井上 直美、 Virginia Cordero Manoba
教科書	増進堂「FLEX English Communication I」		副教材等	アルク「ユメタン1」 アルク「ユメジユク」		
授業のねらい	①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。					
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②復習は音源を使って行います。読み込んだ文章を多聴、音読しましょう。 ※4~5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。					
評価方法	年4回の定期試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	中学校の復習 ※並行してLesson1,2も進めていく		現在・過去・未来表現 完了形・進行形 used to / would・助動詞+have+過去分詞 第4文型／第5文型		
	期末	Lesson3 It's Always Sunny in Space Lesson4 Malala: Fighting for Women's Rights		・SSPS計画とは、どのような計画かを理解させる ・助動詞、名詞＋分詞句、現在完了の表現を理解させる ・マララの故郷で起きた出来事について理解させる ・関係代名詞、過去完了、関係代名詞whatの表現を理解させる		
2 学 期	中間	Lesson5 Mount Fuji Lesson6 Donald Keene and His Love of Japan		・富士山へ登るのは、どのような歴史的な背景があったかを読み取らせる ・同格that、原形不定詞、形式主語itの表現を理解させる ・キーンと日本文学との出会いについて読み取らせる ・強調構文、受け身の進行形、付帯状況の表現を理解させる		
	期末	Lesson7 Virtual Water Lesson8 Wearable Robots May Change Our Life		・日本が仮想水を多く使用しているその背景を理解させる ・関係代名詞の非制限用法、関係副詞の表現を理解させる ・日本の出生率が低下することで、どのような問題が起こりうるか考えさせる ・仮定法過去、仮定法過去完了、関係副詞の表現を理解させる		
3 学 期	学年末	Lesson9 Biomimicry-Inspired by Nature Lesson10 "His Holiness the 14th Dalai Lama" Reading1		・「バイオミクリー」とは何かを読み取らせる ・SVOC(分詞)、分詞構文の表現を理解させる ・ダライ・ラマ14世は世界でどのように知られているか読み取らせる ・部分否定、複合関係代名詞の表現を理解させる 総まとめ		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		外国語	英語コミュニケーション I	必修	4単位	黒澤 斉、Michael Noah Tuttle、 関 京太、Sasser Jeremy
教科書	数研出版「BLUE MARBLE English Communication I」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1200改訂版」 いっずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 単語・熟語、および文法・構文の学習を通じ、英文読解の基礎力を身に着ける。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に着け、教養を深める足掛かりとする。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年4回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	期末	中学校の復習		文法事項を総復習しながら、長文読解も並行して行う。		
		Lesson1 Friendships in the Digital Age Lesson2 Expos: Past, Present, and Future Lesson3 The Fascinating World of a Professional Storyteller Lesson4 Changing Behavior in Unique Ways	・デジタル時代における人とのかかわり方を理解する、万国博覧会の役割の変化を理解する 【英語の語順 I (文型①)】、【動詞の形 I (時制)】 ・講談の魅力と、旭堂南春のメッセージを理解する 【動詞の形 II (助動詞・態)】 ・人々の行動を変え、社会を向上させる仕掛けを理解する 【動詞の形 III (準動詞①)】			
2 学 期	中間	Lesson5 A Journey to Peace Lesson6 Humans Evolve with Measurements	・ルイズの経験と教育への理念を理解する 【英語の語順 II (文型②・準動詞②)】 ・単位が人類の発展に果たした役割を理解する 【英語の語順 III (関係代名詞)】			
	期末	Lesson7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets Lesson8 What to Do with Too Many Tourists	・バイオロギングが動物研究に果たす役割を理解する 【英語の語順 IV (関係副詞)】 ・オーバーツーリズムの問題と観光地の取り組みを理解する 【動詞の形 IV (仮定法)】			
3 学 期	学年末	Lesson9 Surviving in the Information Age Lesson10 The Spirit of Zen : Less Is More まとめ	・情報を適切に扱う方法を理解する ・禅の精神と、現代の世界における影響を理解する ・総まとめ			

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーション I	必修	4単位	高坂 直美、井上 直美、北田 耕一、 Safo Joseph Somuah、Virginia Cordero Manoba、Michael Noah Tuttle
教科書	開隆堂 「APPLAUSE I ENGLISH COMMUNICARION」		副教材等	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION WORKBOOK」 桐原書店 「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店 「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」		
授業のねらい	①日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて伝えることができること。 ②聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて話して伝えることができる。					
学習上の留意点	言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えること。					
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度等を総合的に評価する。また、ネイティブ教員が週1時間の授業(OC)の取り組み、テスト点なども加味して評価をつける。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 1 The Amazing Scenery ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。 Lesson 2 The Mysterious History of Chocolate		自然の大切さや環境の保全に寄与する態度を養う。 英語の構文(SV SVC SVO SVOO SVOC) チョコレートの歴史から世界と日本の食文化にふれることで幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を養う。 英語の構文[SVO (that節)], [比較]		
	期末	Lesson 3 The Secrets of Top Athletes Lesson 4 Evolving Airplanes		アメリカのスポーツに対する考え方にふれ理解を深める。 現在完了形、現在完了進行形、過去完了形 航空機の歴史や航空機の発展を支える環境にふれることで、幅広い知識と教養を身に付ける。 助動詞、受動態、助動詞＋受動態		
2 学 期	中間	Lesson 5 The Symbol of Peace Lesson 6 Serendipity		他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 動名詞、不定詞、形式主語 ふとした偶然をきっかけに予想外のものを見出す「セレンディピティ」についてふれる 分詞の後置修飾、知覚動詞、使役動詞		
	期末	Lesson 7 The Secrets Hidden in Vermeer's Works Lesson 8 Endangered Species in the World		フェルメールの作品が多くの人を魅了しつづけている秘密にふれる。 関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞(所有格) 絶滅の危機に瀕している野生動物についての現状にふれる。 前置詞＋関係代名詞、関係副詞、関係詞の非制限用法		
3 学 期	学年末	Lesson 9 The Dream of Special Makeup Lesson 10 Purifying Powder Reading tupera tupera		世界の特殊メイクアップアーティストの生き方や考え方にふれる。 条件を表す副詞節、仮定法過去 水の大切さを痛感したある日本人が困っている途上国を救うための行動についてふれる。 関係代名詞what、強調構文、分詞構文、SVOO(how to ~) 大人の間でも絵本の人気がある理由や、最も好きな絵本などについて 書かれた内容について、書き手の意図、概要や要点を捉える。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コース1クラス		外国語	論理・表現 I	必修	2単位	宮澤 一輔
教科書	増進堂「MAINSTREAM English Logic and Expression I」		副教材等	アルク「ユメタン1」 アルク「ユメジユク」		
授業のねらい	① 情報や考えを、場面や目的に応じて、英語で書く・話す能力を伸ばす。 ② 英語で書く・話す能力を活用し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。					
学習上の留意点	① 気持ちを伝えあう楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組むこと。 ② 問題解決の過程を振り返り、改善しようとする意識を持ち、授業に参加すること。 ③ 自ら英語を使いコミュニケーションを図ろうとする、積極的な態度で授業に参加すること。					
評価方法	定期考査、授業内で行う小テスト、提出課題、授業態度などを総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期		Lesson1		英語で自己紹介の文を書く【文の要素】		
		Lesson2		好きな音楽について英語で書く【現在形】		
		Lesson3		大切なものについて英語で話す【過去形】 ※ 中間考査に代わる小テスト・課題を実施予定。		
	期末	Lesson4		週末の予定を英語で話す【未来を表す表現】		
		Lesson5		クラブ活動について英語で話す【進行形】		
		Lesson6		クラブ活動について英語で話す【現在完了形】		
		Lesson7		夏休みの計画について英語で話す【過去完了形】		
2 学 期	中間	Lesson8		学校行事について英語で話す【動名詞】		
		Lesson9		けがや病気、健康について英語で話す【不定詞】		
		Lesson10		おすすめの場所について英語で話す【分詞】		
	期末	Lesson11		夏と冬のどちらがよいかについて英語で話す【比較】		
		Lesson12		本物の犬とロボットの犬のどちらがよいかについて英語で話す【助動詞】		
		Lesson13		書道を選択科目にすべきか英語で話す【受け身】		
3 学 期	学年末	Lesson14		おすすめの本について英語でレビューを書く【仮定法】		
		Lesson15		ボランティアについて英語で書く【関係代名詞】		
		Lesson16		外国人におすすめの日本食を英語で紹介する【接続詞】		
		Lesson17		ゴミ削減について英語で書く【否定】		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		外国語	論理・表現 I	必修	3単位	関 京太、黒澤 斉
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression I Advanced」		副教材等	旺文社 「英単語ターゲット1200改訂版」 いっずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 教科書の英文の暗記に終始せず、多様な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年4回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	中学校の復習 ※並行してLesson1,2も進めていく		現在・過去・未来表現 完了形・進行形 used to / would・助動詞+have+過去分詞 第4文型／第5文型		
	期末	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson4 Have you ever tried it before?	・激励する・励ます/計画する・予定する 【時制】 ・経験を尋ねる/初めての経験を述べる 【完了形】			
2 学 期	中間	Lesson5 What do you want to do after high school? Lesson6 Did you hear about the new shop?	・許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する 【助動詞】 ・原因・影響を表す/喜び・驚きを表す 【受動態】			
	期末	Lesson7 I'm happy to have you with us. Lesson8 What sport do you like playing? Lesson9 Digital media has come a long way.	・感謝する/謝罪する/弁解する 【不定詞】 ・誘う・申し出る/推薦する 【動名詞】 ・描写する/判断の根拠を述べる 【分詞】			
3 学 期	学年末	Lesson10 That's why I decided to go back. Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive.	・定義する/言い換える/経緯を説明する 【関係詞】 ・提案する/称賛する 【比較】 ・助言を求める・助言する/願望を表す 【仮定法】			

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現 I	必修	4単位	関 京太、北田 耕一、 高坂 直美、山田 祐加
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard」		副教材等	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard WorkBook」		
授業のねらい	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習上の留意点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を高める。 ②身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝える。 ③言語の運用に関する基礎的な知識を身につけるとともに、背景にある異文化への理解を深める。					
評価方法	年4回(1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	既習範囲の総復習		中学校で習った内容を復習する。		
	期末	Lesson 1.2 (文の種類/文型と動詞)		クラブ活動をクラスに紹介することができる。 文化祭についてパートナーと話し合うことができる。		
2 学 期	中間	Lesson 3.4 (時制/完了形)		旅行の経験をクラスに話すことができる。 スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。		
	期末	Lesson 5.6.7 (助動詞/受動態/不定詞)		パートナーに将来の夢を語るすることができる。 買い物について質問したり、答えたりすることができる。 贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。		
3 学 期	学年末	Lesson 8.9.10 (動名詞/分詞/関係詞)		スポーツをすることの利点について発表することができる。 自分自身や性格について発表することができる。 日本の文化や日本人たちについて発表することができる。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	CHAN WING KIT、 宮澤 一輔、 Virginia Cordero Manoba、 Michael Noah Tuttle
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.1 Lesson.2 Lesson.3 Lesson.4		Introduction オリジナル授業のスタイルに慣れる 第1文型 第2文型(1) 第2文型(2)		
	期末	Lesson.5 Lesson.6 Lesson.7 Lesson.8・Lesson.9・Lesson.10		第3文型(1) 第3文型(2)・第4文型 第5文型・Review・Test 発表課題		
2 学 期	中間	Lesson.11 Lesson.12 Lesson.13 Lesson.14		受動態(1) 受動態(2) 現在完了形(1) 現在完了形(2)		
	期末	Lesson.15 Lesson.16 Lesson.17 Lesson.18		現在完了形(3) 発表課題 形容詞と副詞 比較(1)		
3 学 期	学年末	Lesson.19 Lesson.20 Lesson.21・Lesson.22 Lesson.23 Lesson.24・Lesson.25 Lesson.26・Lesson.27		比較(2) 比較(3) Review・Test 発表課題 不定詞と動名詞 Review・Test		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コース1クラス		外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修 4単位	宮澤 一輔、 Safo Joseph Somuah
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅡ」		副教材等	アルク「ユメタン2」	
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。				
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験授業内で 行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考查	単元		学習目標	
1 学 期	中間	Lesson1 Japanese Cherry Blossoms	動名詞の意味上の主語 同格(名詞＋名詞) 完了形＋受け身		
		Lesson2 Pursuit of Dreams	助動詞＋完了形 不定詞の否定形		
	期末	Lesson3 A Small Grain with a Big Impact	無生物主語構文 不定詞＋完了形 助動詞＋受け身		
		Lesson4 Sea Turtles	as if S+V 疑問詞＋to do 未来進行形		
2 学 期	中間	Lesson5 Running a Business for the Poor	二重否定 thereを用いた表現		
		Lesson6 The Living Library	過去完了進行形 分詞構文の否定 結果を表す不定詞 挿入		
	期末	Lesson7 More than just Shelters	現在完了進行形 be to		
		Lesson8 Artificial Intelligence	If S were to V, S would 完了形の分詞構文 未来完了形 仮定法現在		
3 学 期	学年末	Lesson9 Sapeur	独立分詞構文 倒置		
		Lesson10 Larry Page and the Dream of Google	関係代名詞 完了形の分詞構文の受け身		
		Reading1	いろいろな表現		

2024年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースSクラス	外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修 4単位	黒澤 齊、Sasser Jeremy、 松浦 健司、Virginia Cordero Manoba、Michael Noah Tuttle
教科書	数研出版「BLUE MARBLE English CommunicationⅡ」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いっずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」
授業のねらい	① 単語・熟語、および文法・構文を理解し、英文読解の精度・スピードを高める。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に付け、教養を深める。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。			
学習上の留意点	① 1年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。			
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	考査	単元	学習目標	
1 学 期		Lesson1【社会・人生】 Leadership in Modern Times	・現代社会に求められるリーダーシップについて考える 【重要性・必要性を示す】【英語の構文Ⅰ（英語特有の表現）】	
		Lesson2【地理・文化】 The Diversity of Traditional Houses	・世界の伝統家屋の特徴と、現在の役割について考える 【推量する】【動詞の形Ⅰ（時制）】 ※ 中間考査に代わる小テスト・課題を実施予定。	
	期末	Lesson3【福祉・科学】 Improving Society with Avatar Robots	・社会の孤独を解消する、「分身ロボット」について考える 【希望・期待を述べる】【動詞の形Ⅱ（助動詞、態）】	
		Lesson4【環境・社会】 Approaches to Food Waste	・食品ロスの現状と、私たちにできる取り組みを考える 【一般的な傾向を述べる】【動詞の形Ⅲ（準動詞①）】	
2 学 期	中間	Lesson5【動物・福祉】 Animals as Indispensable Partners	・私たちのよりよい暮らしと社会をサポートする動物について学ぶ 【利点・欠点を述べる】【英語の構文Ⅱ（準動詞②）】	
		Lesson6【言語・文学】 An Irish Poet on a Mission	・翻訳で日本文学の美しさを世界に広める詩人について学ぶ 【比較する】【英語の構文Ⅲ（関係詞）】	
	期末	Lesson7【社会・人権】 Be Free from Gender Bias	・身近にひそむ男性／女性への偏見について考える 【条件・仮定を述べる】【英語の構文Ⅳ（比較）】	
		Lesson8【国際・平和】 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees	・難民保護に尽力した、緒方貞子の信念について考える 【義務・必要性を示す】【動詞の形Ⅳ（仮定法）】	
3 学 期	学年末	Lesson9【環境・科学】 Tackling Global Warming	・ジオエンジニアリングの利点・欠点を考える 【懸念・問題点を示す】	
		Lesson10【人生・心理】 Keys to Finding Happiness	・「幸せ」を自分で切り開く方法を科学的に考える 【つながり・影響を示す】	

2024年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス	外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修 4単位	星 雅之、手塚 政世、 松浦 隆、松浦 健司、Sasser Jeremy、Safo Joseph Somuah
教科書	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION II」		副教材等	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION II WORKBOOK」 桐原書店「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」
授業のねらい	読む・書く・聞く・話すの4技能を総合的に伸ばすための素地を作る。			
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを実践するため、積極的・主体的に授業に参加してください。英検合格に向け、毎時間5分程度の英検対策を行う。			
評価方法	年5回の定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。			
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。			
学習計画	考查	単元	学習目標	
1 学 期	中間	Lesson 1 What is Attractive in Okinawa?	文型(SV/SVO/SVC/SVO(If節)/SVC(分詞) 沖縄の魅力や自分の好きな場所について話す	
		Lesson 2 What have the Japanese People Been Eating?	文型(SVOO/SVOO(If節)/SVOO(that節) 日本職について知り、話すことができる	
	期末	Lesson 3 High School Students' Volunteer Activities	現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形 未来進行形	
		Lesson 4 Happy Time in Finland	不定詞、形式主語it、S find it ~that節、S think it ~to不定詞 あなたが訪れてみたい国について話す	
2 学 期	中間	Lesson 5 The Relay of Ahmed's Life	推量を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、would like to ~ would rather~(than...)	
		Lesson 6 Artificail Intelligence	SVOC、使役動詞、help+目的語+動詞の原形、知覚動詞 AIについて話す	
	期末	Lesson 7 Bando Is My Second Hometown	比較級+than+any other~、~times+比較級+than... one of +the +最上級、完了不定詞、S+seem to +V	
		Lesson 8 The Great Discovery Out of an Accident	受動態の分詞構文、連続した出来事を表す分詞構文 完了形の分詞構文、付帯状況のwith	
3 学 期	学年末	Lesson 9 Green Land Plan	関係代名詞、県警代名詞(非制限用法)、関係副詞、 関係副詞(非制限用法)	
		Lesson 10 The Mystery of Colors	仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法 no matter +疑問詞、複合関係詞	

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス文系		外国語	英語演習	選択必修	2単位	黒澤 斉
教科書	自主教材		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5改訂版」 いっずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	5行程度の中文読解を通して、既習の単語・文法知識を使って、英文を読む力を身に付ける。初見の英文や複雑な英文にも応用できる、「読み方のパターン」を確立する。					
学習上の留意点	中文読解を徹底的に行うことで長文に対する対策や短文読解で培った知識を発展させる。また、予習で分からない点を見つけ、授業で理解し、復習で学習事項を定着させる。予習の段階で、文法書・辞書を徹底的に使い、分からない部分を明確にしておくことが重要です。					
評価方法	授業内の単語テスト、各学期末の評価テスト、日々の授業態度などを総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	第1章	名詞を修飾する主格の関係代名詞(1)			
		第2章	名詞を修飾する主格の関係代名詞(2)			
		第3章	名詞を修飾する目的格の関係代名詞			
		第5章	名詞を修飾する関係副詞			
1 学 期	期末	第6章	目的格の関係代名詞の省略			
		第8章	名詞を修飾する現在分詞			
		第9章	名詞を修飾する過去分詞			
		第12章	同格のthat節			
2 学 期	中間	第13章	関係代名詞whatの名詞節			
		第14章	疑問詞による名詞節			
		第18章	比較表現			
		第19章	仮定法			
2 学 期	期末	第20章	so ~ that …構文			
		第21章	not only ~ but also …構文			
		第22章	等位接続詞の共通関係			
		第24章	分詞構文			
3 学 期	学年末	第25章	付帯状況のwith			
		第26章	<S V O + to do> 構文			
		第27章	<S V O + do> 構文			
		第28章	<S V O C> 構文			

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースIクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	3単位	松浦 健司
教科書	増進堂「MAINSTREAM English Logic and ExpressionⅡ」		副教材等	アルク「ユメタン2」		
授業のねらい	論理表現は「英単語・英文法」の2つの力を合わせて磨かれているものである。つまり、表現を磨くためには2つの力を付けることから始まり、そしてその力を運用することを到達点として授業を行う。					
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。この即座にという言葉 키워ドに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。					
評価方法	年5回の定期試験と日常の取り組み。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.1		文の要素		
		Lesson.2		時制		
		Lesson.3		過去形と完了形		
		Lesson.4		仮定法		
	期末	Lesson.5		名詞と数		
		Lesson.6		受身		
		Lesson.7		分詞		
		Lesson.8		比較		
2 学 期	中間	Lesson.9		動名詞／SVOC		
		Lesson.10		関係詞／thatの用法		
		Lesson.11		否定／不定詞		
		Lesson.12		分詞構文／譲歩の表現		
	期末	Lesson.13		無生物主語／itの用法		
		Lesson.14		助動詞／名詞構文		
		Lesson.15		修辭的疑問／譲歩		
		Lesson.16		列挙／強い主張		
3 学 期	学年末	Lesson.17		Cause&Effect／図表の引用		
		Lesson.18		まとめ1		
		Lesson.19		まとめ2		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	3単位	関 京太、黒澤 斉
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Ace」		副教材等	旺文社 「英単語ターゲット1400 5訂版」 いっずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 教科書の英文の暗記に終始せず、多彩な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 1年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かし」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期		Lesson1. Future Goals		・文同士のつながりを学び、自分の将来の夢について書く。		
		Lesson2. School Life		・考えを順序立てて述べ、好きな学校行事を紹介する。 ※ 中間考査に代わる小テスト・課題を実施予定。		
	期 末	Lesson3. Sports		・例示をしながら、好きなスポーツ選手について書く。		
		Lesson4. Information Age		・ソーシャルメディアの利点と欠点を比較し、議論する。		
2 学 期	中 間	Lesson5. Environmental Issues		・因果を述べながら、エネルギー利用について書く。		
		Lesson6. Cultures		・根拠を引きながら、ある国とその文化について書く。		
	期 末	Lesson7. Language Education		・公用語についての記事を理解し、それを要約する。		
Lesson8. Society		・日本文化についてのプレゼンテーションを要約する。				
Lesson9. Wishes		・説明を加えながら、自分が想像する場面を発表する。				
3 学 期	学 年 末	Lesson10. Science and Technology		・AIと共存するために必要なことを、データを示し発表する。		
		Lesson11. Health		・睡眠時間についてのディベートで、自分の意見を述べる。		
		Lesson12. Business		・チョコレートを売る際に重要な視点について議論する。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースクラス		外国語	多文化理解	必修	1単位	松浦 隆
教科書	学事出版「地球村への10のステップ ワークノート」		副教材等			
授業のねらい	1. 世界空間と5,000年の時間軸といった世界を理解する「土台」を体感する。 2. 世界の多様な価値観を大枠で理解する。 3. 戦争や破壊の無い世界をつくるために自分たちで新しい世界作りを考える。					
学習上の留意点	日頃から国内外の出来事に興味・関心を持ち、マスメディアやインターネット、書籍などを通じて情報収集をする習慣をつける。自分なりにすべてのことに対して何らかの見解(ポジション)を持つようにし、それを人に説明できるようにしておく。					
評価方法	各学期末に、筆記試験またはスピーチ、プレゼンテーションを実施する。 内容、提出物、日頃のクラスへの貢献度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	導入 No.1 グローバル時代を生きる No.2 地球の大きさを測った男 考查		コースの概要を理解し、学習目的を確認する。 現在の日本と日本を取り巻く世界情勢の正しい理解 古代ギリシャ時代の知の探究と現代日本との比較 ひらめきを生むプロセスについて考察する。		
	期末	No.3 文化が違えばルールも違う 考查		世界を4つの文化コードに分類し、それぞれの特徴や異文化圏の人々との対処法を学ぶ。		
2 学 期	中間	No.4 絹の道、じゃんけんの道 文化祭 考查		人類70億人の価値体系の基盤である、東洋思想 や世界宗教などがシルクロードを通じてどのように広まったかを知る。そこからグローバル化の歴史や多文化理解のヒントを探る		
	期末	No.5 悲劇と偉大な仕事の分かれ道 考查		戦争の歴史を概観し、歴史認識の違いや人種差別問題を考える。又、アンネの日記学習を素材として、記録(ログ)をつけることの重要性を学び、ポートフォリオ指導への橋渡しをする。		
3 学 期	学年末	No.6 スピーチ・ライティング / No.7 地球村の新しいルールを作ろう 期末考查		スピーチの題材、原稿作成等の効果的な方法を学ぶ。 自分が選んだテーマにつき、スピーチを行う 世界平和を実現するため過去の偉大なルールを検証し、こからの時代にふさわしい人類共通ルールを自分たちで考える。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	CHAN WING KIT、 Sasser Jeremy
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.11		現在完了(2)		
		Lesson.12		現在完了(3)		
Lesson.13		形容詞と副詞				
Review		Lesson11～13				
期 末	Lesson.14		比較(1)			
	Lesson.15		比較(2)			
	Lesson.16		比較(3)			
	Review		Lesson14～16			
2 学 期	中間	Lesson.17		数の表現		
		Lesson.18		不定詞(1)と動名詞		
Lesson.19		不定詞(2)				
Review		Lesson17～19				
期 末	Lesson.20		分詞(1)			
	Lesson.21		分詞(2)			
	Lesson.22		助動詞			
	Review		Lesson20～22			
3 学 期	学 年 末	Lesson.23		過去完了と未来完了		
		Lesson.24		関係詞(1)		
Lesson.25		関係詞(2)				
Review		Lesson23～25				
Lesson.26		副詞節				
Lesson.27		itの表現				

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	3単位	塩田 志保、黒澤 斉、 関 京太、松浦 健司、 山田 祐加、Sasser Jeremy
教科書	啓林館 「Vision Quest English Expression II Hope」		副教材等	啓林館 「Vision Quest English Expression II Hope」		
授業のねらい	英語表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Part 1 Lesson 1 「伝統行事がいくつもあるのね。」		主語の決定／見えない主語の発見／主語のit 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語		
	期末	Lesson 2 「職業体験はどうだった？」		自動詞と他動詞／SVO／SVOO／SVC／SVOC		
2 学 期	中間	Lesson 3 「話したいことがあるんだ。」 Lesson 4 「航空管制官として働きたいんだ。」		使役動詞／知覚動詞／〈動詞＋O＋to do〉 時制:「～する」／「～している」／「～した」／「～していた」 (現在形から完了形まで)		
	期末	Lesson 5 「そんな経験をもう一度したいわ。」 Lesson 6 「これはカナダのバンクーバーで撮った写真なんだ。」		義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞 「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」 名詞を前から修飾する語句 名詞を後ろから修飾する関係代名詞 / 関係副詞		
3 学 期	学年末	Lesson 7 「携帯電話は私たちの生活になくてはならないもの？」		副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句・副詞節		
		Lesson 8 「犬と猫どっちが好き？」		原級／比較級／最上級／最上級を意味する表現		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英検Interview Test Practice	選択	2単位	Safo Joseph Somuah
教科書	LINGUAL HOUSE 「Basics In Listening by Micheal Rost and Munetsugu Urano」		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	基本的なリスニングスキルと戦略的な解き方を身に付けさせます。					
学習上の留意点	日頃の授業態度を重視する。また授業内、家庭学習において積極的に音読をすることが大切である。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、その他筆記試験を実施する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	導入、説明 基本知識 英検2次対策	基本説明、必要事項の記入 手紙、名前、電話番号、住所など			
	期末	音声学、ボキャブラリー 音声学、ボキャブラリー	母音と子音の発音 環境音、ヒューマンサウンド、サウンドシークウェンス			
2 学 期	中間	基本的な会話、質問の仕方 買い物で使うフレーズ 指示 英検2次対策 模擬	挨拶、自己紹介、要求、謝罪の表現 イエス・ノークエスション 室内での指示			
	期末	復習テスト これまでの復習	個人に関する情報、数字、日時、場所について 復習のための映画鑑賞			
3 学 期	学年末	描写	服や姿勢、体格などの描写について			
		食と飲み物 復習テストと振り返り	買い物リスト、レシピ、レストラン 描写、計画、助言、順序、選択とお勧めの仕方			

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英文読解入門	選択	2単位	山田 祐加
教科書	自主教材		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい		①英語に対する苦手意識をなくし、興味を持って積極的に英語を学ぼうとする姿勢を身につける。 ②素早く英文を読み、量の多い読解問題を解けるようになる。				
学習上の留意点		すぐに力がつくわけではないので、根気よく毎日勉強を続けること。				
評価方法		授業内のテスト、提出物で総合的に評価する				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 01～04		基本的な文法事項、単語、熟語を学習しつつ、長文読解に慣れる。 長文の内容を理解し、問題を解く方法を身につける。 英語を勉強する習慣について再度確認する。		
	期末	Lesson 05～08		基本的な文法事項、単語、熟語を学習しつつ、長文読解に慣れる。 長文の内容を理解し、問題を解く方法を身につける。		
2 学 期	中間	Lesson 09～12		長文を正確に読み解くスピードを意識して、素早く問題が解けるようになる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
	期末	Lesson 13～19		長文を正確に読み解くスピードを意識して、素早く問題が解けるようになる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
3 学 期	学年末	Lesson 20～24		これまでの学習を活かして、2学期よりも素早く正確に長文を読み解き、問題を解くことができる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースクラス		外国語	英語コミュニケーションⅢ	必修	4単位	CHAN WING KIT, Virginia Cordero Manoba, Michael Noah Tuttle
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅢ」		副教材等	旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」 アルク「ユメタン2」		
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。					
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 Mr. Price Meets Jakuchū	倒置と不定詞の意味上の主語			
		Lesson2 Cleaning the Oceans: One Young Man's Dream	分詞構文と仮定法			
	期末	Lesson3 The Value of Practice: Ten Thousand Hours to Mastery	過去完了や省略			
		Lesson4 In Defense of Zoos	前置詞＋関係代名詞, 部分否定・全否定			
2 学 期	中間	Lesson5 Facing Your Marshmallow Problem	関係代名詞whatと名詞構文			
		Lesson6 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna	強調構文, 句や節を先行詞とするwhichの表現			
	期末	Lesson7 Lessons from History of Easter Island	関係副詞, 助動詞＋have＋過去分詞の表現			
		Lesson8 Life Without Magic	不定詞の結果用法, 関係副詞の非制限用法			
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	英語コミュニケーションⅢ	必修	4単位	神林 慶、Safo Joseph Somuah
教科書	開隆堂「Ambition English CommunicationⅢ」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 旺文社「英単語ターゲットR 1900レベル 改訂版」		
授業のねらい	① 共通テストおよび一般選抜を見据え、英文読解の精度・経験値を高め、背景知識を深める。 ② 様々なテーマの英文に触れ、長さのある入試問題に適應する力を身に着ける。(量の訓練) ③ 一度扱った英文の音読を徹底し、語彙力・文法力・構文力を高める。(質の訓練)					
学習上の留意点	① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般選抜を突破するのに、必要な「視点」「考え方」を毎回 確認していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 【スポーツ・文化】 E-sports Lesson2 【自然・生物】 Scott Gende and Thomas Quinn's Report on Salmon and Bears		eスポーツ/eスポーツを教える学校について理解する クマが森に与える影響/ クマ、サケ、森の生態系について学ぶ		
	期末	Lesson3 【人生・生き方】 Child Labor Problems in the Ivory Coast Cocoa Sector Lesson4 【異文化理解・生き方】 Foreign Residents in Jaolan		児童労働と、その原因・解決の試みを学ぶ 日本在住の外国人/外国人労働者の現状を学ぶ		
2 学 期	中間	Lesson5 【人生・生き方】 The Edible Schoolyard Lesson6 【歴史・生き方】 Restoring to Deaf People the Right to Education		エディブル・スクールヤード/スローフードの価値を理解する 米国聴覚障害者教育の歴史/ ジェスチャーと手話の違いを学ぶ		
	期末	Lesson7 【スポーツ・科学】 How Weight Training Changes the Brain in Rats Lesson8 【科学・生き方】 How to Change People's Minds		ネズミを使った実験手法/筋トレの脳に対する影響を知る 人間心理/人の心を変えるためのヒントを知る		
3 学 期						

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーションⅢ	必修	4単位	宮澤 一輔、神林 慶、Sasser Jeremy、Safo Joseph Somuah、Virginia Cordero Manoba、Michael Noah Tuttle
教科書	東京書籍「Power On English Communication Ⅲ」		副教材等	東京書籍「Power On English Communication Ⅲ ワークブック」 桐原書店「Data Base 3000」 桐原書店「Data Base 3000 書いて覚える英単語ノート」		
授業のねらい	①新出単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。					
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを 実践するため、積極的・主体的に授業に参加するように。進路実現につながるよう、 英検取得に向けて授業内でも対策を行う。またData Base 3000も引き続き単語テストを実施する。					
評価方法	定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。また、ネ イティブ教員によるオーラルコミュニケーションの授業での取り組み、提出物、テストなども加味して総 合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用 し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思 考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1	文の主語と述語動詞の働きに着目しながら、今後の図書館の 在り方について、的確に読み取ることができる。			
		Library of the future				
	期末	Lesson2	パラグラフの構成と話題文、支持文、結論文の役割に着目しな がら本文を読むことができる。			
		History Maker Otani Shohei				
2 学 期	中間	Lesson3	序論、本論、結論の3部から成る文章の構成に着目しながら、 本文を的確に読み取ることができる。			
		Zoo Dentists				
		Lesson4	写真家の生き方について聞いたり読んだりしたことを理解した り、要点や詳細をとらえたりすることができる。			
		Nature Photographer in Alaska				
	期末	Lesson5	イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容と賞の意義について聞 いたり読んだりしたことを理解する。			
		A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think				
		Lesson6	ハロウィーンの起源と歴史について聞いたり読んだりしたことを 理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。			
		Where Does Halloween Come from?				
3 学 期	学年末	Lesson7	3Dプリンターの変遷やその後の活用法など様々な視点を通し て理解し的確に要点や詳細をとらえたりすることができる。			
		Will 3D Printing Technology Change the World?				
		Lesson8	言葉の変遷を知ることにより視野を広げ、周辺の歴史を知り、 的確に要点や詳細をとらえたりすることができる。			
		A Conductor of the Underground Railroad				

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	論理・表現Ⅲ	必修	2単位	CHAN WING KIT
教科書	増進堂 「MAINSTREAM English Logic and ExpressionⅢ」		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	①大学受験に対応しうる文法知識を身に着ける ②記述問題に対応しうる表現力をつける					
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。 この即座にという言葉 키워ドに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	lesson.1 lesson.2 lesson.3 lesson.4	「日本文化の再発見」をテーマに、複数の資料を活用しながら、 自分の力で、スピーチ原稿を作成し発表できる。			
	期末	lesson.5 lesson.6 lesson.7 lesson.8	「過去、現在、そして未来のデジタル・コミュニケーション」を テーマに、複数の資料を活用しながら、自分の力で、 プレゼンテーション原稿を作成し発表できる。			
2 学 期	中間	lesson.9 lesson.10 lesson.11 lesson.12	「SDGsを達成するために2030年までに何ができるか」を テーマに、複数の資料を活用しながら、自分の力で、 エッセイを書くことができる。			
	期末	lesson.13 lesson.14 lesson.15 lesson.16	「デジタル教科書は紙の教科書よりもよいか」をテーマに、 複数の資料を活用しながら、自分の力で、ディベートができる。			
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	論理・表現Ⅲ	必修	2単位	神林 慶
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ」		副教材等	旺文社 「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 旺文社 「基礎英作文問題精講 3訂版」		
授業のねらい	① 英検および、共通テスト・一般選抜を見据え、構文力・作文力を高める。 ② 様々なテーマの英文に触れ、「伝えたいことをどう伝えるべきか」を学ぶ。(インプット) ③ 習得した知識を踏まえ、作文問題・リスニング問題に対応する力をつける。(アウトプット)					
学習上の留意点	① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般選抜を突破するのに、必要な「視点」「考え方」を毎回 確認していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1／Lesson2 【学習・言語】		・助言や譲歩の表現を用いて、プレゼンテーションをする。		
		Lesson3／Lesson4 【心理】		・関係性や判断の根拠を示して、レポートを書く。		
	期末	Lesson5／Lesson6 【健康】		・利点や結果を示しながら、パラグラフを書く。		
		Lesson7／Lesson8 【異文化】		・影響や他との差異に触れながら、レポートを書く。		
2 学 期	中間	Lesson9／Lesson10 【情報化社会】		・利点と欠点を対比し、理由を示して、コメントを書く。		
		Lesson11／Lesson12 【社会構成】		・社会の多様化について、対比をしながら意見を述べる。		
	期末	Lesson13／Lesson14 【経済】		・電子決済や所得格差について、意見を述べる。		
		Lesson15／Lesson16 【環境問題】		・環境問題の原因と解決策について、発表する。		
3 学 期						

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現Ⅲ	必修	2単位	CHAN WING KIT、 手塚 政世、松浦 健司
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ」		副教材等	啓林館「Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ WorkBook」		
授業のねらい	語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身につけると共に文化的背景の理解にも努める。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験等で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1	Friendship and improvement	「助言」をテーマに、相談メールに散りばめられている表現を学んでいく。		
		Lesson2		「譲歩」をテーマに商品説明を通して様々な表現を学んでいく。		
	期末	Which is better, a paper or an electronic dictionary?	Lesson3	「関係」をテーマに、新聞のコラムを通じて様々な表現を学んでいく。		
		Lesson4		「判断の根拠」をテーマに、講義形式の文を読み、様々な表現を学んでいく。		
2 学 期	中間	Can you change your personality?	Lesson5	「代替」をテーマに、よくウェブサイトに出てくる表現を学んでいく。		
		Lesson6		「結果」をテーマに、友人との会話の中で使われる表現を学んでいく。		
	期末	Healthy lifestyle	Lesson7	「物事への正負の影響」をテーマに、メール文面でよく使われる表現を学んでいく。		
		Lesson8		「差異」をテーマに、オンライン講義を通してよく使われる表現を学んでいく。		
3 学 期	学年末	What do you do after school?				
		Lesson8	Direct and indirect ways of communication			

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	英語演習	必修	3単位	CHAN WING KIT
教科書	自主教材		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	① 共通テストの長文に対応しうる速読力を身に着ける。 ② CEFR B1レベルの語彙を確実に身に着ける。					
学習上の留意点	① 読解中で分からなかった語彙・文法はその都度復習し定着させること。 ② 精読は意識せず、要点を掴みながら読む多読を意識すること。					
評価方法	学期末の評価テスト・授業態度で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英文多読演習 ① 問題ごとの特徴把握 ② 修飾関係の読み取り 英検対策		① データ・旅行日程の読み取りなど問題の特徴を把握し注意して読むべきポイントを整理する。 ② 文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。 英検対策として、「速読」演習を授業冒頭に取り入れる。		
	期末	読解問題演習(記述式) 読解問題演習(マーク式)		6月下旬に受験する進研記述模試に向けて、 ① 答えの探し方(どの表現をヒントにするか)を確認する。 ② 答えのまとめ方(字数による視点の違い)を習得する。 河合マーク模試や夏休みの学習に向けて、 ① 答えの探し方と選択肢の選び方を習得する。 ② 「記述式よりマーク式の方が簡単」という認識を改める。		
2 学 期	中間	過去問演習(資料読解など) 過去問演習(内容説明問題など)		共通テスト・私大一般		
	期末	過去問演習(文法問題) 過去問演習(選択・記述問題)		共通テスト・私大一般		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		外国語	英語演習	必修	2単位	神林 慶
教科書	自主教材		副教材等	アルク「ユメタン1」「ユメタン2」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」		
授業のねらい	① 英文を正確かつ速く「読む力」、速読力を身に着ける。(主に1学期) ② 問題の演習経験を蓄え、初見の問題にも動じない「解く力」、受験に必要なスキルを身に付ける。(主に2学期)					
学習上の留意点	① 科目に対する得意・不得意に関わらず、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組む。 ② 受験に必要な「視点」「考え方」を毎回紹介していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	評価テスト、授業内の小テスト、授業態度などを参照に総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	導入 (大学入試と英文読解) 〔英文精読演習〕 テーマ①:SVを把握する テーマ②:修飾関係を読み解く		大学入試における英文読解の比重を知り、その対策として、「読む力」と「解く力」の重要性を理解する。 ① 主語になれるものとなれないもの、動詞になれる形となれない形を整理・習得する。 ② 修飾する語句を正確に読み取り、文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。		
	期末	〔読解問題演習〕 英文のテーマは以下を予定 ① 文化・人間 ② 言語・コミュニケーション ③ 自然・科学 ④ 社会・経済		「読む」力を土台に、「解く」ために何が必要かを意識する。類題を想定し、背景知識・関連語彙の習得も目標とする。 ※ 6月の共通テスト模試、7月の総合学力模試を見据え、マーク式・記述式どちらの演習も行う。		
2 学 期	中間	〔読解問題演習〕 英文のテーマは以下を予定 ⑤ 情報・科学技術 ⑥ 医療・健康 ⑦ 地球環境		「読む」力を土台に、「解く」ために何が必要かを意識する。類題を想定し、背景知識・関連語彙の習得も目標とする。 ※ 9月の共通テスト模試、10月の総合学力模試を見据え、マーク式・記述式どちらの演習も行う。		
	期末	〔過去問演習〕 大東亜帝国～日東駒専が中心 以下の設問形式を主に扱う予定 ① 空所補充問題 ② 内容一致問題 ③ 内容説明問題		受験を予定している大学の過去問を演習する中で、「解く」ことに加え、「点数を取る」ための視点を意識する。 ※ 受験者の志望状況に応じて、取り上げる問題を、変更する可能性がある。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語演習	必修	2単位	星 雅之、松浦 隆
教科書	自主教材		副教材等	自主教材		
授業のねらい	英文の構造・基本を理解し直すことで英語の理解を助めていく。 例文の暗唱等を行い、基本的な英文の構造を修得する。					
学習上の留意点	辞書を必ず持ってくること。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、各学期ごとに複数回実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	(1)平叙文・疑問文・命令文・感嘆文 (2)疑問文・命令文 (3)基本時制		様々な文の形を理解し、英文の文法的構造を理解する。 基本時制と進行形の違いの理解等。		
	期末	(4)完了時制 (5)助動詞 (6)受動態		現在完了・過去完了と各進行形の時制の理解。 各時制での助動詞の働き。 能動態と受動態の違いの理解。		
2 学 期	中間	(7)不定詞 (8)動名詞 (9)分詞		準動詞の理解を深める。 名詞・形容詞・副詞としての働きの理解。		
	期末	(10)関係代名詞 (11)話法		形容詞節の理解、限定用法・非制限用法の理解。 時制の理解を深める(時制の一致)。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	CHAN WING KIT、Virginia Cordero Manoba、Michael Noah Tuttle
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする。					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること。					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.28	名詞節			
		Lesson.29	仮定法(1)			
		Lesson.30	仮定法(2)			
		Review	Lesson28～30			
	期末	Lesson.31	仮定法現在			
		Lesson.32	代名詞			
		Lesson.33	否定			
		Review	Lesson31～33			
2 学 期	中間	Lesson.34	強調			
		Lesson.35	語順			
		Lesson.36	さまざまな日常表現(1)			
		Review	Lesson34～36			
	期末	Lesson.37	さまざまな日常表現(2)			
		Lesson.38	さまざまな日常表現(3)			
		Lesson.39.40	さまざまな日常表現(4)(5)			
		Review	Lesson37～40			
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	時事英語	必修	1単位	松浦 隆
教科書	自主教材(英字新聞などのコピーを使用予定)		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	英字新聞などの資料に慣れ親しみ、それらの読解のノウハウの習得を目指す。また、現在の社会で起こっている様々なことに興味・関心を持ったうえで、メディア・リテラシーを身に付ける。					
学習上の留意点	日本語の背景知識および基本的な政治・経済・歴史の知識の増強も同時に各人で進めること。また、家庭学習において音読、リスニング、問題演習などの予習・復習は必須となる。					
評価方法	授業内テストを期末に1回(または学期に2回)実施する。また、提出物や授業への取り組みも平常点として加味する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英字新聞の特徴について 健康 文化 / 考查		英字新聞特有の表記方法などについて解説する。 Headline、Lead、Body(本文)などの構成および読解の際の注意点などについて学ぶ。 テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 ニュースソース(情報源)について学ぶ		
	期末	科学技術 医療 観光 考查		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 COVID-19を中心に最新の医療について知る オリンピックなどインバウンドや観光立国としての戦略について		
2 学 期	中間	交通 経済 宇宙 スポーツ / 考查		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 基本的な経済の仕組みやマネーの知識を学ぶ 宇宙開発の最先端事情について学ぶ		
	期末	政治 歴史 I 歴史 II 考查		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 米中対立とその影響等について学ぶ 自分たちのルールを知る大切さについて学ぶ		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		外国語	受験英語	選択	2単位	神林 慶
教科書	自主教材(プリント等)		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5訂版」 いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」 旺文社「基礎英作文問題精講 3訂版」		
授業のねらい	英検、共通テスト・一般選抜を見据え、知識を定着させ、入試での解答力・得点力を高める。					
学習上の留意点	① 2年次までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般選抜を突破するのに、必要な「視点」「考え方」を毎回確認していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	授業内の評価テスト(定期考査に準ずる)・小テスト、課題提出、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	実力チェックテスト		一般選抜突破に向けて、現在の実力を把握する。		
	期末	私大・国公立大二次対策 演習		入試過去問等の演習を通じて、解答力・得点力を高める。		
2 学 期	中間					
	期末					
3 学 期						

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	学び直しの英語	選択	2単位	星 雅之
教科書	自主教材		副教材等	自主教材		
授業のねらい	中学校および高校で学習した基本的な文法を復習し、英文の基本的構造を理解する。比較的平易な英文を遠し、基礎的な読解力・表現力を養う。					
学習上の留意点	辞書を必ず持ってくる。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、各学期ごとに複数回実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	オリエンテーション 英語の基本ルール 5文型	英語の基本学習作法について学ぶ 中学校英語の総復習 基本5文型について学ぶ (自・他動詞、目的語、補語など)			
	期末	時制 態・助動詞	現在・過去・未来・完了・進行形について学ぶ 能動態と受動態、助動詞の用法について学ぶ			
2 学 期	中間	不定詞・動名詞 分詞・仮定法	不定詞と動名詞の用法について学ぶ 現在分詞・過去分詞および仮定法について学ぶ			
	期末	比較・関係詞 接続詞・その他	比較の原級・比較級・最上級 および関係詞の用法について学ぶ 名詞および副詞のかたまりをつくる接続詞について学ぶ			
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英文読解	選択	2単位	井上 直美
教科書	自主教材		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	文法項目を確認し最初は比較的短い長文読解を中心としながら、簡単な英文の速読を訓練していきます。その後、300語程度の長文の精読を通して英語力を高めます。					
学習上の留意点	辞書を用意すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、中間・期末ごとに筆記試験を実施する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	オリエンテーション 文法の基礎を学ぶ		授業の目的、内容を説明 一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。		
	期末	文法の基礎を学ぶ		一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。		
2 学 期	中間	問題演習 問題演習		比較的短い長文を用いての読解トレーニング。 比較的短い長文を用いての読解トレーニング。		
	期末	問題演習 問題演習		300語程度の長文を用いての読解トレーニング。 300語程度の長文を用いての読解トレーニング。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語入試対策	選択	2単位	井上 直美
教科書	赤本など		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	入試対策全般					
学習上の留意点	読解力や文法力を含め、総合力を4技能バランスよく力をつける。					
評価方法	小テスト、授業内の取り組み(プリント)					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英検2級の問題を扱い、英検の対策を行う。 時制・助動詞・受動態・動名詞 不定詞など		総合力をつけるためにプリントによる訓練を行う。 多量即解などの訓練 様々な問題に取り組んで、慣れさせる。		
	期末	仮定法・話法・分詞など イディオムの特訓 語彙力をつける。		様々な問題に取り組んで、慣れさせる。 表現練習 英検のライティングに挑戦。		
2 学 期	中間	個々の入試問題に挑戦させる。 帝京大学の入試問題 様々な大学の赤本で演習。		演習を繰り返し、問題に慣れる。		
	期末	個々の入試問題に挑戦させる。 様々な大学の赤本で演習。		演習を繰り返し、問題に慣れる。		
3 学 期	学年末					

2024年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	文法・語彙講座	選択	2単位	松浦 隆
教科書	増進堂「マスターのノート」		副教材等	自主教材プリント		
授業のねらい	入試(総合型・推薦等)で出題されそうな問題(英検3級～2級程度)に対応出来る力を養う					
学習上の留意点	文法参考書・辞書(必須)を読み込むなど自学自習の姿勢が必須					
評価方法	小テスト、学期ごと定期テスト、出欠席および日頃の授業への取り組み					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考查	単元		学習目標		
1 学 期	中間	文法: マスターノート 単元 1～9 単語(自主プリント)		現在形(be動詞、一般動詞)、助動詞 中学基礎単語の復習		
		文法: マスターノート 単元 10～17 単語(自主プリント)		疑問文、命令文、過去形(be動詞、一般動詞)、進行形 中学必修単語の復習		
	期末	文法: マスターノート 単元 18～24 単語(自主プリント)		比較、現在完了、5文型 中学必修単語の復習		
		文法: マスターノート 単元 25～30 単語(自主プリント)		受動態、準動詞、接続詞 高校基礎単語の復習		
2 学 期	中間	文法: マスターノート 単元 31～34 単語(自主プリント)		関係代名詞 高校基礎単語の復習		
		文法: マスターノート 単元 35～39 単語(自主プリント)		句、節を指すit、過去完了、関係副詞、仮定法、分詞構文 多義語、イディオム		
	期末	文法復習		既習事項の復習		
3 学 期	学年末					